

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**弘前市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）**  
（最終変更 令和8年3月12日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 趣のある風景情報発信事業	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 弘前城本丸石垣整備事業	.....	3
2 鷹揚公園整備事業	.....	4
3 景観重要建造物等保存・改修費助成事業	.....	5
4 趣のある建物情報発信事業	.....	6
5 弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業	.....	7
6 主要地方道弘前岳繻ヶ沢線整備事業	.....	8
7 追手門広場改修事業	.....	9
8 松並木保存管理事業	.....	10
9 津軽塗後継者育成研修事業	.....	11
10 津軽塗技術保存伝承事業	.....	12
11 無形民俗文化財用具修理事業	.....	13
12 レッツウオークお山参詣開催	.....	14
13 景観阻害建造物等除却費助成事業	.....	15
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存、文化財の修理・整備	.....	16
2 保存・活用を行うための施設の設置、 文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	.....	17
3 保存・活用の普及と啓発	.....	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	.....	19
2 (報道等タイトル名)		
3 (報道等タイトル名)		
4 (報道等タイトル名)		
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 景観ブースの開催	.....	20

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	21
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 必要に応じて国や青森県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画掲載事業の進捗状況等についての報告や意見の聴取をすることで、計画の実効性を高めるとともに、必要に応じて計画の変更を行なうこととする。

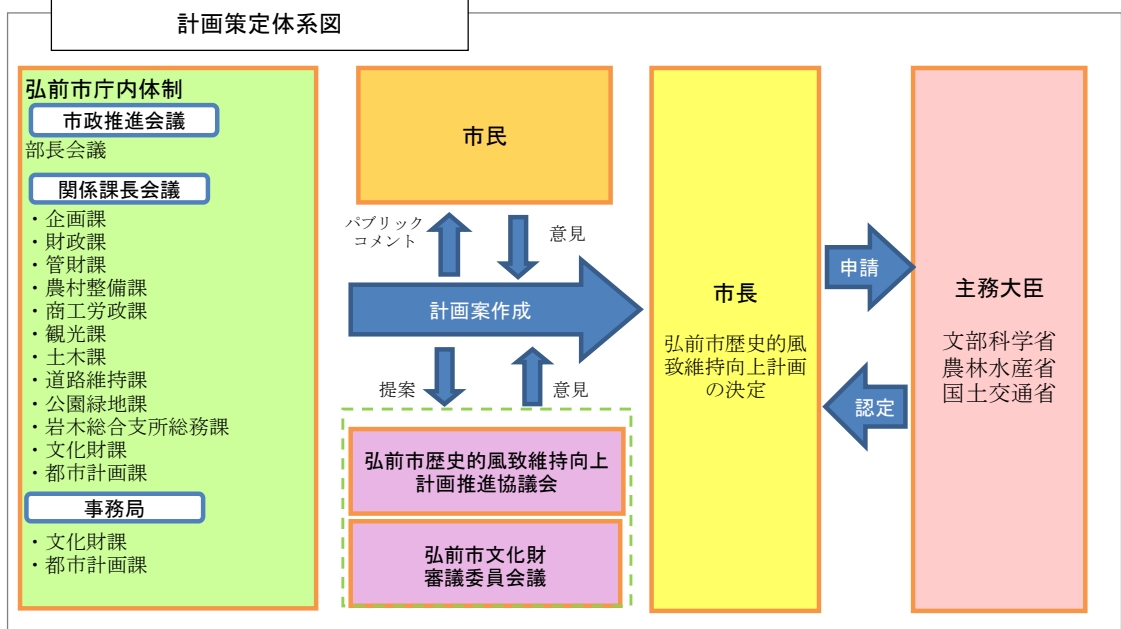
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画の推進について客観的な評価や意見を聴取するため、有識者や関係団体、文化財等所有者、市民等により組織した弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、関係者間において情報を共有しながら、実効性のある推進体制を維持する必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等



●弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

- (1) 開催日 対面開催 令和8年2月9日(月)
- (2) 案件 令和7年度 進行管理・評価シートについて  
弘前市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
趣のある風景情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	自然・歴史・文化に彩られた景観を守り、育むため、市民の意識醸成を行い、市民と一体となった景観保全を進めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
弘前市の景観をPRするために、平成26年度に市民から募集したビューポイントをまとめた「趣のある風景散策ガイドマップ」を市内各所の施設等に設置し、「趣のある建物散策ガイドマップ」と共に配布した。(配布部数 約8,000部)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—	

状況を示す写真や資料等

【趣のある風景散策ガイドマップ】



【弘前市役所での設置状況】



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
弘前城本丸石垣整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成19年度～令和9年度		
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備費補助金(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	重要文化財である弘前城天守が載る本丸東面と南面の石垣に崩落の危険性があるため、平成19年度から調査・測量を開始し、本丸石垣修理委員会等の指導を受けながら、計画的に石垣の保存修理を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度実施した天守基礎の耐震補強工事に伴い発掘調査を実施したところ、近世盛土や礎石跡等、縄文時代の盛土遺構等を確認。 発掘調査の内容等については、弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会に諮り、段階毎に了承を得ながら進めている。 その他、天守曳戻し工事に着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		各専門分野の有識者に指導を仰ぎ、慎重かつ計画的に実施する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<b>【委員会等の開催日時及び会議内容】</b> ○弘前城跡本丸石垣発掘調査委員会 第1回 令和7年6月13日 天守台北西杭設置部で検出した遺構の取扱いについて  <b>【天守基礎耐震補強工事に伴う発掘調査の実施概要】</b> ・調査期間: 令和6年7月～令和7年8月 ・調査内容: 天守基礎耐震補強工事により、天守台下の近世盛土及び縄文時代晩期の遺物包含層等を掘削する必要があることから発掘調査を実施した。その結果、縄文時代晩期の盛土遺構、天守再建前の辰巳櫓台北に附属すると考えられる建物の一部(礎石建物等)を確認したほか、近世の陶磁器や瓦、縄文土器や石器、石製品等が出土している。  <b>【弘前城天守曳戻し工事概要】</b> ・工事期間: 令和7年10月3日～令和9年3月30日 ・工事内容: 天守曳戻し工事(直接仮設工、解体工、曳戻し工、基礎工事、木工、雑工、機械・電気設備工)			
<b>【天守台】</b> 		<b>【曳戻し準備作業に着手した天守】</b> 	
<b>【発掘調査状況】</b> 		<b>【遺物出土状況】</b> 	

評価軸③-2  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
鷹揚公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成20年度～令和10年度

支援事業名 防災・安全社会資本整備交付金(都市公園・緑地等事業)

計画に記載している内容 当市の中心に位置し、約49haの面積を持つ鷹揚公園(弘前公園)は、国指定の史跡であるとともに、「弘前さくらまつり」の期間中だけで、約200万人を超える観光客が訪れる都市公園となっているが、園内施設の老朽化が著しいため施設整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、園内にある杉の大橋の木部更新工事を実施した。

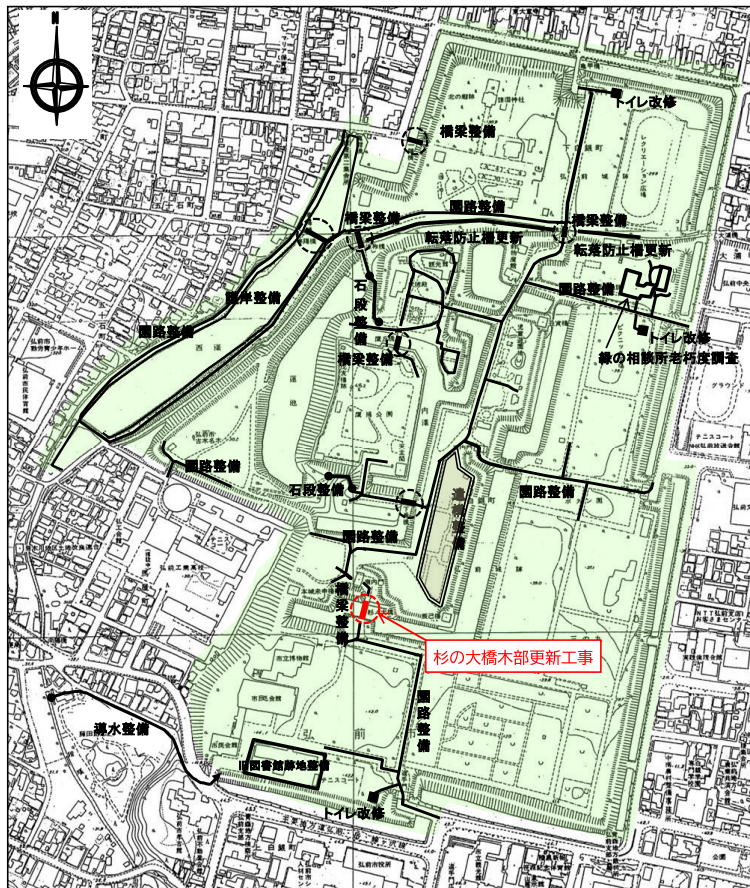
・杉の大橋木部更新工事:N=1橋

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



R6年度迄実施 :   
R7年度実施 :

【杉の大橋木部更新完了】



評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
景観重要建造物保存・改修費助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の多くは良好な景観を形成しているものの老朽化や消失が著しいため、景観法に基づく景観重要建造物及び歴史まちづくり法に基づく歴史的風致形成建造物に指定し、その保存及び改修費に係る経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「開雲堂」(景観重要建造物・令和元年5月30日指定・第15号)について、雪により破損した屋根を現状復帰するための修繕工事に対し、費用の一部を助成した。また、今後予定している改修工事に先立ち、躯体の耐震診断を行うための費用の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

歴史的建造物の特徴、価値を明確にしたうえで景観重要建造物と歴史的風致形成建造物に指定し、その価値を維持・向上する保存修理を進める。

状況を示す写真や資料等



【開雲堂(景観重要建造物)】

改修前



改修後



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
趣のある建物情報発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	文化財の指定を受けていない古い建物を「趣のある建物」として指定し、市民や観光客に情報発信する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市が指定した「趣のある建物」を市民や観光客に情報発信するために、指定建物や観光施設等で「趣のある建物ガイドマップ」を配布した。(配布部数 約20,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	—

状況を示す写真や資料等

【趣のある建物散策ガイドマップ】



【弘前さくらまつりに出展した景観ブースでの設置状況】

(令和7年4月18日、19日、20日出展)



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
弘前市仲町伝統的建造物群保存地区修理修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)

計画に記載している内容 仲町伝統的建造物群保存地区は弘前公園の北側に位置し、地区住民の協力を得ながら仲町地区武家屋敷の特徴である屋敷構、家屋、生垣等を継承している。  
地区住民に対し、主屋や門、板塀、サワラ生垣の修理修景に必要な経費の一部の補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度実績

・伝統的建造物群保存地区修理修景事業補助(23件)  
 総事業費 56,601,050円 補助金交付額 27,007,000円  
 (主屋修理3件、門修理1件、板塀修理2件、庭園修理1件、生垣修理4件、門修景2件、板塀修景2件、生垣修景8件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

引き続き、所有者の経費負担の支援の拡充について検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

・修理事業【薬医門修理】



・修理事業【板塀修理】



評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
主要地方道弘前岳繆ヶ沢線整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和10年度		
支援事業名	防災安全交付金		
計画に記載している内容	主要地方道弘前岳繆ヶ沢線の未無電柱化区間は、沿道には重要文化財である旧第五十九銀行本店本館、登録有形文化財及び景観重要建造物である三上ビルがあり、さらにねぶた運行ルートでもあることから、良好な景観形成を図るため電線類を地中化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
弘前市民中央広場に隣接する区間については、令和3年度に電線地中化と歩道のロードヒーティング設置が完了し、1年を通して快適な歩行空間の確保並びに、良好な景観が創出されている。今後は桜の名所の観光地である弘前公園と土手町商店街を結び、ねぶた運行ルートとなっている一番町工区の電線地中化について、支障埋設物(上水道管及びガス管)の移設を行い、工事に着手している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一番町工区の整備については、課題整理、交通量調査等に基づき詳細設計を行い、関係事業者及び地元住民の同意を得て、令和7年5月に整備計画を策定している。工事に着手し、試掘したところ、新たに支障となる埋設管が出現したため、修正設計を行っており、追加の試掘が必要になっている。また、試掘時の既設ロードヒーティング取壊しによる冬期の交通安全の確保も必要であるため、これらの対応及び検討に時間を要し、更に関係事業者との調整も加わり、工程に遅れが生じている。 【ただし、令和10年度までには事業完了の予定】		
<b>【事業位置図】</b>			
		<b>【事業箇所の状況】</b>	
電線共同溝・ロードヒーティング整備 【事業完了箇所】 市民中央広場 旧第五十九銀行本店本館 主要地方道弘前岳繆ヶ沢線		電線が道路を横断 歩道に柱が乱立	
● 弘前岳繆ヶ沢線整備事業(青森県:整備済み) ● 市民中央広場整備事業(弘前市:整備済み) ● 市民中央広場整備事業(弘前市:拡張予定)		地元住民への説明(R5年3月) 	
<b>【事業完了箇所】ロードヒーティング整備完了後</b> 旧第五十九銀行本店本館			
夏期 		冬期 	

評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
追手門広場改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
弘前公園に隣接し、県の有形文化財(建造物)旧東奥義塾外人教師館等が配置され当市の観光・文化拠点となっている追手門広場の舗装の補修、障害者誘導ブロックの改修、ミニチュア建造物上屋及び案内板の整備等を行う。

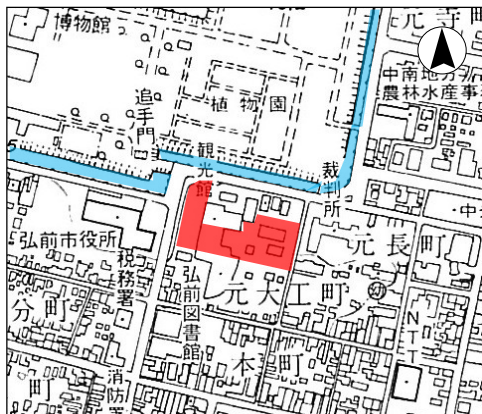
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

弘前公園周辺の歴史的風致の維持・向上を図るため、ミニチュア建造物の修理を弘前工業高等学校のご協力のもと行った。令和5～7年度の3か年計画でミニチュア建造物(かくは宮川デパート)の修理を行っていたが、令和7年11月に完成した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来年度も引き続き経年劣化したミニチュア建造物の修理事業を実施する。

状況を示す写真や資料等

【事業位置図】



【ミニチュア建造物修理作業状況①】



【ミニチュア建造物修理作業状況②】



【ミニチュア建造物修理完成③】



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備又は管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
松並木保存管理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 県の記念物に指定されている百沢街道および高岡街道の松並木は岩木山神社及び高照神社の神社建築や民間信仰行事のお山参詣と一体となって、岩木お山参詣地区の歴史的風致を形成している。この松並木の樹勢を維持させるため、松周囲及び周辺緑地の草刈りと清掃、サワラ生垣の刈込、肥料の打ち込み等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り(年2回)

観光シーズンが到来する新緑の時期と、お山参詣が開催される旧暦七月晦日前までにそれぞれ実施。

- ・1回目：5月27日～6月4日実施
- ・2回目：9月2日～14日実施

②サワラ生垣の刈込(年1回)

時期は問わないが、初夏から秋にかけて葉が生い茂るため、秋の行楽シーズン(嶽きみ)到来までに実施。

- ・9月2日～14日実施

③施肥

- ・6月16日実施

・施肥実施対象木：51本中16本(百沢街道)、11本中4本(高岡街道) 計20本/62本

・使用する化成肥料：18g/本(N:P:K=17:10:10)

マツ1本に対し10～16本使用(幹回りに応じて調整) 総打込み本数：250本

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

お山参詣に見る歴史的風致の維持及び向上のため、松並木のマツ及び周辺環境を計画的に維持管理することで、景観形成及び文化財(県記念物)である松の生育状況を良好に保つことが必要である。

状況を示す写真や資料等

○松周囲及び周辺緑地の環境整備

①草刈り(百沢街道)

【施工前(1回目)】

令和7年5月27日



【施工後(1回目)】

令和7年6月4日



【施工前(2回目)】

令和7年9月2日



【施工後(2回目)】

令和7年9月14日



②サワラ生垣刈込

【施工前】

令和7年9月2日



【施工後】

令和7年9月14日



③施肥

【施工の様子】 令和7年6月16日



【百沢街道】



【高岡街道】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
津軽塗後継者育成研修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成19年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 津軽塗業界の高齢化に伴う後継者不足を解消するため、津軽塗を生業として目指す若者を対象に津軽塗の基礎技術を体得するための研修を行う団体に対して経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【令和7年度実施状況】

研修生:4名

研修期間:7期生2名⇒令和3年10月～令和7年3月

8期生1名⇒令和4年9月～令和8年3月

9期生1名⇒令和6年9月～令和10年3月

10期生3名⇒令和7年9月～令和11年3月

研修項目:津軽塗に関する講義、木地作り、下地作り、道具の使い方、津軽塗4技法習得のための技術研修及び成果発表展示。

研修時間:月・水・金の午前9時から12時まで

※これまで18名が研修を修了し、うち11名が津軽塗職人として活動中。

令和7年度成果発表会を令和8年3月13日から3月15日に開催予定。

進捗状況 ※計画年次との対応

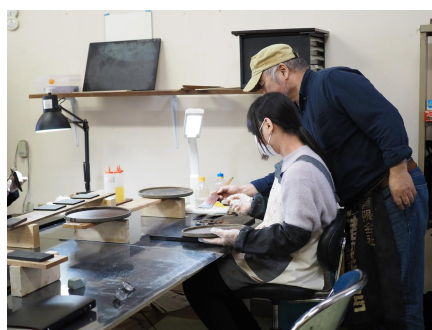
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

研修終了後の雇用先の確保が困難となっているため、市内の津軽塗関連事業者と連携し、さらなる技術研鑽や津軽塗業界での就業ができるようサポートを行っていく。

状況を示す写真や資料等

【研修風景】



【成果発表会】



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
津軽塗技術保存伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

津軽塗の重要無形文化財への指定、津軽塗技術保存会の保持団体への認定によって全国的に価値が認められる一方、その技術を継承する後継者の不足が課題となっているため、津軽塗技術保存会に対し、会員の技術の研鑽及び後継者育成を行う活動経費の一部を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津軽塗技術保存会が実施する技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助。

<津軽塗技術保存会 令和7年度活動状況>

- (1)後継者育成:塗研修生3名、木地研修生1名 フォローアップ研修生 塗2名、木地1名
- (2)再現作品制作:津軽家に伝来した漆塗手板の技法を用いた津軽塗作品を制作。  
令和8年3月2日に会員による講習会を開催。
- (3)特別発表会:これまでの活動について紹介するとともに、伝承者育成事業の研修生の制作作品等を展示。  
令和7年4月25日～27日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)  
令和7年10月31日～11月2日 旧紺屋町消防屯所(弘前市)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

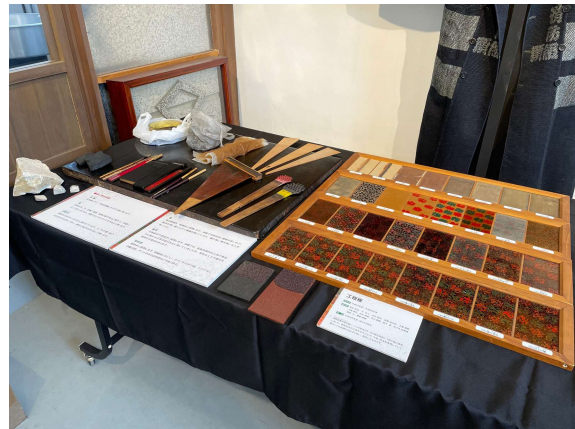
後継者育成における、講師の確保などの体制構築が急務である。

状況を示す写真や資料等

【後継者育成研修の様子】



【特別発表会の様子】



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
弘前市民俗文化財用具修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和58年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	弘前市の指定無形民俗文化財を伝承する各団体は、その母体が地区の集落単位であり、有志による運営が多いことから財政基盤が弱く、伝承活動に必要な用具の確保が困難な状況になっているため、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら伝承活動に必要な用具の修理や更新に係る経費の一部の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでの本用具修理事業の継続的な実施により、令和7年度は用具修理の要望は無かった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		後継者の裾野を広げるため、更なる普及活動等が必要であるとともに、伝承活動の確実な実施のためには、今後も用具修理への支援を継続していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">令和7年度は事業実施実績なし</div>			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
レッツウォークお山参詣開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財であるお山参詣を市民や観光客が体験できるよう、一般の人が参加できる「レッツウォークお山参詣」を開催する団体へ助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

レッツウォークお山参詣実行委員会(事務局:岩木山観光協会)に対して事業費の一部補助を行うことでイベント開催を支援。国重要無形民俗文化財である「岩木山の登拝行事」を一員として体感できるイベントの開催を通じて、市民・観光客の歴史的風致に対する理解促進等を図った。  
開催年月日:令和7年9月21日 参加者数:187名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致の維持・向上に資するものであることから、来年度も継続実施したい。

状況を示す写真や資料等



イベント開催状況

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
景観阻害建造物等除却費助成事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

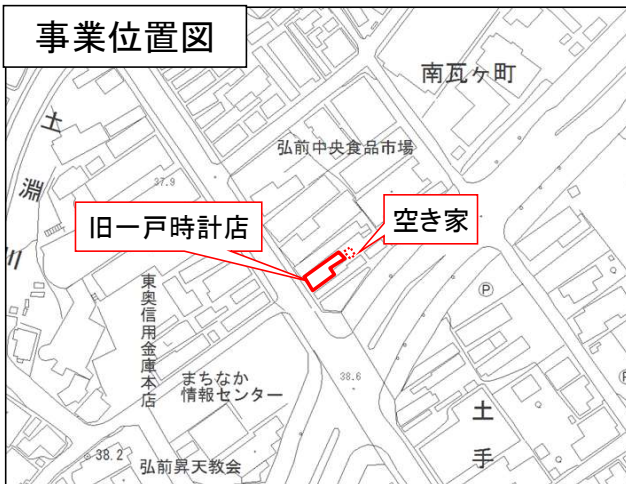
事業期間	令和7年度～令和7年度
支援事業名	歴史的観光資源高質化支援事業
計画に記載している内容	老朽化等に伴い、近接する景観重要建造物等の景観を損なう建物等を解体し、良好な景観を形成しようとする除却費に係る経費の一部を助成します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

壁面の劣化など老朽化した建造物(空き家)を解体し、敷地内に隣接する景観重要建造物および歴史的風致形成建造物(旧一戸時計店)の景観の向上を図ろうとする建造物の所有者に対し、解体費用の一部を助成しました。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観重要建造物および歴史的風致形成建造物の周辺景観の維持・向上を図るため、建物の老朽化等に伴い、景観を阻害している建造物等の所有者に対し、理解を求めながら費用の助成をしていく。

状況を示す写真や資料等



【近景】除却前

旧一戸時計店に隣接する空き家の除却

除却前

除却後



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存、文化財の修理・整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 弘前に残る歴史的なまちなみ、伝統工芸や民俗芸能を保存するため、所有者や保存団体との連携を深めて、保存修理や伝承活動への助成を適正に実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の保存

①民俗芸能団体に対する後継者育成事業等への補助(令和7年度要望団体無し)。伝統工芸(津軽塗)後継者育成への補助。

○文化財の修理・整備

①弘前城跡整備

- 1)津軽氏城跡保存修理事業(再掲)
  - ・弘前城本丸石垣整備事業(H19～R9年度)
  - 令和7年度は、天守曳戻し工事に着手し、本丸排水工事を実施中。
  - ・天守基礎耐震補強工事(R6～R8年度)
  - 令和7年度から、基礎杭設置工事に着手した。

②岩木山神社拝殿ほか4棟保存修理事業

- 事業期間: R7～R15年度
- 岩木山神社拝殿・楼門・奥門・瑞垣・中門の保存修理。
- R7年度は素屋根等の資材搬入のための仮設道路敷設工事に着手。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の本質的価値を守るため、適正な資金計画が必要である。

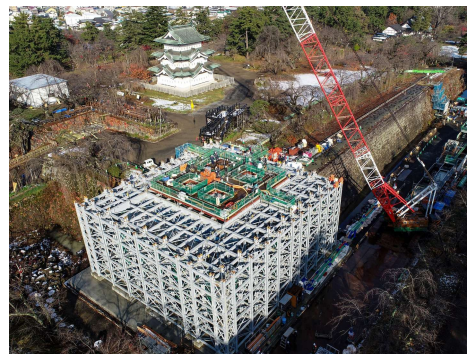
状況を示す写真や資料等

①弘前城跡整備

本丸排水工事(着手前)



天守基礎耐震補強工事(基礎杭設置工)



②岩木山神社拝殿(現状)



②岩木山神社楼門(現状)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
保存・活用を行うための施設の設置、文化財の周辺環境の保全、文化財の防災	<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 史跡である大森勝山遺跡のガイダンス施設の整備などの進展に伴い、先史時代について深く学ぶ施設等の整備を目指す。また、仲町伝統的建造物群保存地区において防災計画の見直しを進める。さらに、重要文化財(建造物)等の防災設備及び防犯設備の整備を順次進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の防災・防犯

①最勝院五重塔防災設備設置事業

事業期間: R7年度(R6年度からの繰越事業)

老朽化した木製保護柵を金属製保護柵への更新・易操作性消防設備の新設(既設放水銃に加えて設置)。

②文化財防火デー火災防ぎょ訓練事業

文化財防火デー(1月26日)の先日である、令和8年1月25日に旧弘前偕行社にて火災防ぎょ訓練を実施する予定であったが、豪雪対応のため急遽中止した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

ハード整備とともに、ソフト面での体制づくりを進める必要がある。個別文化財の防災計画について、所有者との連携で作成を目指す。

状況を示す写真や資料等

①最勝院五重塔防犯設備設置事業

木製保護柵 (現状)



金属製保護柵 (更新後)



易操作性消火栓設置



放水銃 (既設)



③文化財防火デー火災防ぎょ訓練 【旧弘前偕行社】

中止

中止

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
保存・活用の普及と啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財建造物の一般公開と修理現場の公開を行う。また、民俗芸能等の記録保存を行うとともに、公開・情報発信できる場を設けるように支援する。さらに、史跡等で発掘現場を公開し、その成果を積極的に発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○保存・活用の普及と啓発

①「ちびっこ縄文講座」開催  
市内の小学生を対象に、地区内に残る文化財の調査学習や土器づくり体験などを実施。(7月16日、10月15日、10月17日、10月22日に実施。参加人数:延べ47人)

②「歴史体感ツアー」開催(5月5日、8月24日に実施。参加人数:延べ56人)

③「小学校史跡見学会」開催  
市内の小学生を対象に、大森勝山遺跡、堀越城跡、弘前城跡を見学。(参加校数:20校 参加人数:延べ1,153人)

④「大森勝山じょうもん祭り」開催(7月27日開催。参加人数:417人)

⑤「堀越城秋まつり」開催  
史跡を会場に、見学ツアーや講演会などを開催。(10月12日開催。参加人数150人)

⑥「まいぶん講座」開催  
学識経験者や市の担当者などが埋蔵文化財について市民向けに講座を開講。(6月29日、9月28日、2月8日(予定)開催。参加人数:40人)

⑦「まちなかクラフト村」開催  
市内の工芸品の展示・販売を実施。(4月3日～3月29日 計13回実施。参加人数:延べ10,516人※12月末日時点)

⑧その他学習支援及び一般説明等  
小中学校の学習支援として文化財の公開活用及び一般市民等への説明等を実施。(実施回数3回参加人数:141人)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 文化財保護の裾野をひろげるためにも小中学校との連携は今後も継続して実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

<p>①ちびっこ縄文講座</p>  <p>令和7年7月16日～10月22日 参加人数:延べ47人</p>	<p>②歴史体感ツアー</p>  <p>令和7年5月5日、8月24日 参加人数:延べ56人</p>
<p>③小学校史跡見学会</p>  <p>参加校数:20校 参加人数:延べ1,153人</p>	<p>④大森勝山じょうもん祭り</p>  <p>令和7年7月27日 参加人数:417人</p>
<p>⑤堀越城秋まつり</p>  <p>令和7年10月12日 参加人数:150人</p>	<p>⑥まいぶん講座</p>  <p>令和7年6月29日、9月28日 参加人数:延べ40人</p>
<p>⑦まちなかクラフト村</p>  <p>令和7年4月3日～令和8年3月29日 参加人数:延べ10,516人</p>	<p>⑧その他学習支援等</p>  <p>令和7年12月22日ほか 参加人数:延べ141人</p>

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
津軽塗職人目指し誓い	R7.9.2	陸奥新報
響くはやし 御幣掲げ	R7.9.24	東奥日報
追手門広場の「かくは宮川」ミニチュア 2年ぶり もとの姿に	R7.11.18	東奥日報
「杉の大橋」開通	R7.12.4	東奥日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○津軽の伝統工芸である津軽塗の担い手を育成するため、職人になることを希望した若者3人の育成研修事業の開校式が9月1日に開かれ、それぞれ決意が述べられた。(津軽塗後継者育成研修事業)  
 ○9月20日から3日間にかけて行われた「岩木山お山参詣」2日目の「宵山」では、のぼりや御幣を掲げた白装束姿の参拝者が登山ばやしを響かせながら練り歩いた。(レッツウォークお山参詣開催)  
 ○弘前工業高校の生徒が3年かけて手掛けてきた追手門広場のミニチュア建造物「かくは宮川」の修復が終了し、携わった生徒達からは、「先輩たちが続けてきた修復を、自分たちの代で完成できて良かった」と喜んだ。(追手門広場改修事業)  
 ○弘前公園の二の丸と三の丸を繋ぐ「杉の大橋」の木材交換工事が終了し、敷板や欄干などが輝きを取り戻した。(鷹揚公園整備事業)

進捗状況 ※計画年度次の対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	(特になし)

状況を示す写真や資料等

(2) 令和7年9月24日 東奥日報 掲



(1) 令和7年9月2日 陸奥新報 掲



(3) 令和7年11月18日 東奥日報 掲



(4) 令和7年12月4日 東奥日報 掲



左平原さんは「津軽塗を初めて見たい」と思っていたが、この機会に「感動」した。長く使ってもらえるようにと、基本を大事に技術を磨き、商品を作りたい」と力を込めた。(津軽塗)

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和7年度

項目

景観ブースの開催

計画に記載している内容 地域の歴史資源の認識のさらなる向上のため、文化財に指定されていないものの、当市の風情を醸し出している建物の情報発信に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和7年4月18日(金)、19日(土)、20日(日)に弘前市の前川建築や歴史まちづくり等、景観事業全般についての周知を行う景観ブースを「弘前さくらまつり」会場にて開催したことにより、市民の景観や歴史的建造物の保全に対する意識啓発や景観資源の気づきの向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

広聴広報課のシティプロモーションブース(現存12天守パネル展及び、各天守のパネル・記念品配布等)と協同出展したことにより、幅広い世代へ弘前市の近代建築及び景観をPRすることができた。また、さくらまつり開催期間ということもあり、県外観光客が圧倒的に多く、なかなか県外の方に配る機会がなかった弘前市の歴まちカードや各種パンフレットを配布することができた。今後も、弘前市の景観や地域資源についての意識啓発など、全世代に触れやすい機会の創出に取り組んでいく必要がある。

状況を示す写真や資料等

令和7年度 景観ブース

会場: 弘前さくらまつり(弘前公園二の丸情報館付近)

日時: 令和7年4月18日、19日、20日 9時~17時

【各種パンフレット等の配付実績】

前川建築カード 木村産業研究所カード 約46枚、市庁舎カード 約61枚  
 歴まちカード 約 109枚  
 趣のある建物 約 157冊  
 趣のある風景 約 122冊  
 前川建築パンフ 約 34冊

【景観ブースの様子】



・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 弘前市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 対面開催(令和8年2月9日)

■議事の内容

- ・令和7年度 進行管理・評価シートについて
- ・弘前市歴史的風致維持向上計画(第2期)の軽微な変更について

■進行管理・評価シートへのコメント

- ・15ページにある新規事業について、事業期間が令和7年度から令和7年度となっているが、他の事業では令和10年度までとなっている。これは令和7年度で終了の事業ということでしょうか。一戸時計店の関係で今年度必要があったので実施したということでしょうか。→そのとおりであり、現時点では来年度以降、この事業を実施する予定はない。

■軽微な変更へのコメント

- ・国の補助事業「地域の観光資源充実のための環境整備推進事業」に弘前市が関わり、予算の充実を図ったことで、新規事業が出てきたと思う。それらも含めた計画の軽微な変更という内容ではあるものの、資料に関する事務局への要望として、今回、計画の変更箇所のみを抜粋した資料が配付されているが、それ以外の箇所についても新たに変更した方がよいなどの委員からの意見を含めた軽微な変更としてこれまでやってきたと思うので、今後は変更箇所の資料の配付ではなく、計画書の全てを印刷し、事前に委員へ配付してほしい。→今後はそのように対応したい。

■その他へのコメント

- ・建築基準法の関係で簡単には手をつけられない状況にある中、歴史的建造物には外観の手直しが必要な建物や、今年の豪雪で屋根の庇が折れるなど損害を被った建物があり、修繕等についての相談が寄せられている。令和10年度までの計画のため、今後このような建物について、事業に追加掲載して補助金を活用した対応は可能なものか。→建物の所有者等から都市計画課にご相談いただければと思う。国の新しい補助金を使いやすいということがある一方で、所有者等の自己負担が必ず発生してくるので、その辺の兼ね合いも含めて所有者等と話し合いながら、調整していきたいと思う。

【協議会の様子】



(今後の対応方針)

当市の歴史的風致維持向上計画について委員に検討いただき、活発な意見交換と計画の充実に資する観点から、今後は計画書の全てのページを印刷し、事前に委員へ配付するよう見直す。